

幸福の科学学園中高チアダンス部

中学3度目の世界一！高校悲願の全国優勝！



左から桜沢正顕さん（顧問）、神山奈々恵さん（高1）、武田佳蓮さん（高1）、石田愛理さん（高3）、玉田あいるさん（高3）

幸福の科学学園中学校チアダンス部は、3月25日にカルフォルニア州アーバインで開催されたダンスドリル世界大会に出場し、総合優勝に輝き、2年連続3度目の世界一を獲得しました。また、高校チアダンス部は3月28日、千葉・幕張メッセで行われた「USAスクール&カレッジ・ナショナルズ2017」に出場し、ソング・ボン部門でこの大会悲願の初優勝を果たしました。

4月25日、両校が結果報告に町長を訪れ、高校のキャプテン石田さんは「家族や先輩方、応援してくれた地元の皆さまに感謝を伝えられるように踊りました」と大会を振り返りました。

ゆめなと一緒にダンス！

黒田原のマスコットキャラクター「クロロとゆめな」をテーマにした短編映画主題歌などが収録されたCDの発売に向け、4月22日余笹川ふれあい公園で、プロモーションビデオの撮影が行われ、町内の子ども15人が参加しました。

子どもたちは振り付けを覚えるため、撮影前1時間ほど真剣に練習し、撮影に臨みました。

クロロのドラム演奏に合わせてゆめなと一緒にダンスを踊り、テーマ曲のCD化を企画した地域おこし協力隊の木下愛貴さんがカメラを回しました。

撮影した映像は、YouTubeで見ることができます。ぜひご覧ください。



暖かくなり、黒田原の店舗の軒先で篠竹を編んでいるとたくさんの方が声をかけてくれます。「昔やっていた」「懐かしい」という声から、「初めて見た」「どうやって使う物ですか」などその年代によって反応はさまざま、使い方にしても、うどんざるや米とぎざるとしての従来の使い方はもちろん、ランドリーボックスやカトラリー入れなどインテリア用品としての使い方まで幅広く使ってもらっています。「こう使ってみたいのだけど」など新しい使い方の相談も増え、サイズもそれによって変えて制作してみたりと試行



店舗兼工房「渦」で那須伝統工芸「篠細工」を作る中村隊員の様子



地域おこし協力隊の活動レポート

中村 舞子

Vol. 18

錯誤の毎日です。

4月から黒田原商店街のハウスミドリヤの一角をお借りして、お店兼工房をオープンしました。お店の名前は「渦（うず）」。「篠ざるの立ち上げの時に現れる、渦巻き模様からとりました。この渦巻き、左回りか右回りかどれくらい幅があるかなど作る大きさはもちろんですが、作り手によっても出方がさまざまなのです。渦の出方で誰の作品かわかるくらいで、那須の篠細工の特徴でもある4つの脚が出る重要な編み方でもありません。

伝統的な部分はしっかり守っていきながら那須の篠細工の可能性を広げ、私の作品の色が出るようになれればと考えています。

今後は、イベントの出店などから那須伝統工芸篠細工を知ってもらえる機会を増やしていく予定です。またワークショップも開催し、伝統工芸をもっと身近に感じてもらえるよう活動していきます。

お店の方では、私が元々作っていたマクラメ編みやアクセサリーなどのワークショップも受け付けています。ぜひお気軽にお越しください。

